

砂防設備点検調書
電子データ作成要領
第 1.0 版

平成 22 年 3 月

広島県土木局土木整備部砂防課

改 訂 履 歴

版	改訂年月日	該当箇所	改訂内容
1.0	2010/3		新規作成

目 次

I. 一般

1. 総則 -----	I -1
2. 電子データの構成 -----	I -1
3. 納品物 -----	I -2
4. 電子納品データのフォルダ構成 -----	I -2
5. 電子媒体 -----	I -3
6. 提供する配布資料 -----	I -3
7. 電子媒体のラベル -----	I -3
8. ウイルス対策 -----	I -4

II. 点検データ作成

1. 砂防設備点検データ作成フロー -----	II -1
2. 点検結果・文字データの作成 -----	II -2
3. 点検結果・写真データの作成 -----	II -7
4. 点検調書・PDF データ作成 -----	II -8
5. 納品用点検データの作成 -----	II -10

III. 点検データ作成

1. 市区町村コード一覧 -----	III -1
2. PDF 文書の作成について -----	III -4

I . 概要

I. 概要

1. 総則

砂防設備点検調書電子データ作成要領(以下、本要領)は、砂防アセットマネジメントにおける設備点検に適用する。

点検調書作成と併せて点検調書の電子データを本要領に従って作成する。

2. 電子データの構成

点検調書・電子データは、①文字データ、②PDFデータ、③写真データ から構成される。

点検調書・電子データの構成は、以下のとおりとなる。

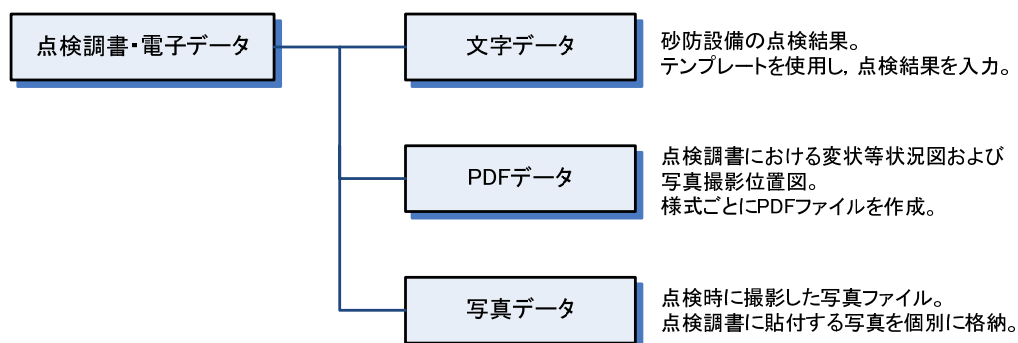


図 I-1 成果品構成

① 文字データ

文字データは、砂防課より配布する文字データテンプレート(Excel2003 互換形式のファイル)に必要なデータを入力して提出する。文字データテンプレート以外で独自に作成した Excel ファイルは不可とする。文字データテンプレートのシートの追加や削除は行わないこと。また、「シートの保護」は解除せずに、入力可能なセルのみを編集すること。

② PDFデータ

PDFデータは、点検調書の内容をパソコンで閲覧するためのデータで、PDF形式*で作成する。PDF 作成の精度は原図の内容が判読可能な精度を目安とすること。

*PDF (Portable Document Format)は、Adobe Systems 社によって開発された電子文書用のフォーマット。ハードウェア、OS に問わずオリジナル文書を表示可能なファイル形式である。

③ 写真データ

点検時に撮影した写真の電子データで、記録形式は JPEG 形式とする。撮影方法は、施設点検マニュアルの「1.1 写真の撮影方法」によること。

4. 納品物

納品物は以下のとおりである。(点検調書と同時に納品する)

- | | |
|--------------|---------------------|
| (1) 点検調書 |紙 |
| (2) 電子データ成果品 |原則として CD-R とする |

5. 電子納品データの構成

電子納品データは図 I -2 で示すとおり、点検結果ごとに圧縮ファイルを作成し、電子媒体に格納して納品する。

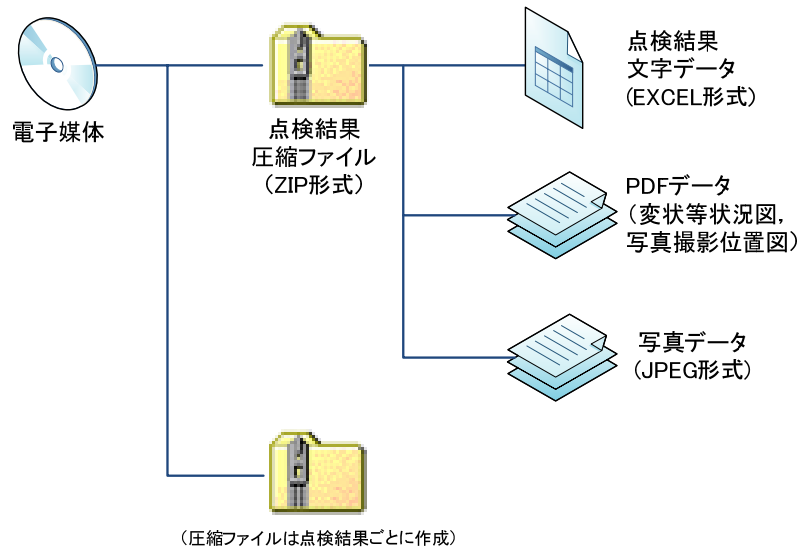
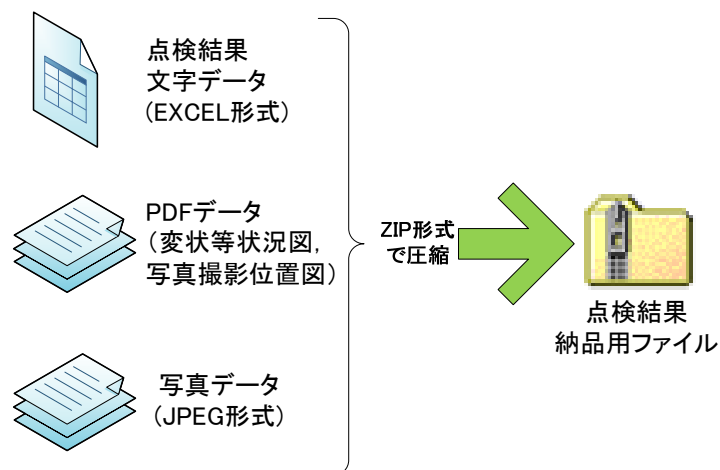


図 I -2 フォルダ階層

点検結果の文字データ、PDF データ及び写真データをひとまとめにした ZIP 形式の圧縮ファイルを作成して電子媒体に格納する。複数の点検結果を同時に納品する場合は、点検結果 ZIP ファイルを点検数だけ作成すること。1つの ZIP ファイル内には他の点検結果の電子データを置かないこと。



6. 電子媒体

- | |
|-------------------------------------|
| 電子媒体は原則として CD-R とする。 |
| (1) 論理フォーマットは ISO9660(レベル 1)を原則とする。 |

成果品は電子媒体に書き込んで納品する。

7. 提供する配布資料

点検結果の電子データを作成するため、以下の資料を配布する。

(1) 文字データテンプレート(Excel ファイル)

(1) 文字データテンプレートは Excel2003 形式で配布する。

8. 電子媒体のラベル

・電子媒体には以下の内容を含むラベルを貼ること。

- (1) タイトル
- (2) 何枚目/総枚数
- (3) 溪流名
- (4) 市町村
- (5) 作成年月日
- (6) 受注者名

・電子媒体を入れるプラスチックケースの背表紙に、以下の内容を含むラベルを貼ること。

- (1) タイトル
- (2) 溪流名
- (3) 作成年月日

・電子媒体に貼るラベル

- (1) タイトル:「砂防設備点検 電子納品データ」とする。
- (2) 何枚目/総枚数:納品する電子媒体の総枚数と、該当の電子媒体が何枚目かを明記する。
- (3) 溪流名:点検した砂防設備が設置されている溪流名を明記する。
- (4) 市町村:対象となる区域の市町村名を明記する。
- (5) 作成年月日:電子媒体を作成した年月日を明記する。
- (6) 受注者名:受注者の会社名を明記する。



図 I -2 ラベル作成例

・背表紙に貼るラベル

- (1) タイトル:「砂防設備点検 電子納品データ」とする。
- (2) 溪流名: 電子媒体に納められている溪流名を明記する。
- (3) 作成年月日: 電子媒体を作成した年月日を明記する。

砂防設備点検電子納品データ 安川左支川他3溪流 平成22年〇月×日

図 I -3 背表紙ラベル作成例

9. ウイルス対策

納品前に以下の項目に従ってウイルス対策を行う。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">(1) 最終成果品が完成した時点で、ウイルスチェックを行う。(2) ウイルス対策ソフトは、シェアの高いものを利用する。(3) ウイルス対策ソフトは、最新のデータに更新したものを利用する。 |
|---|

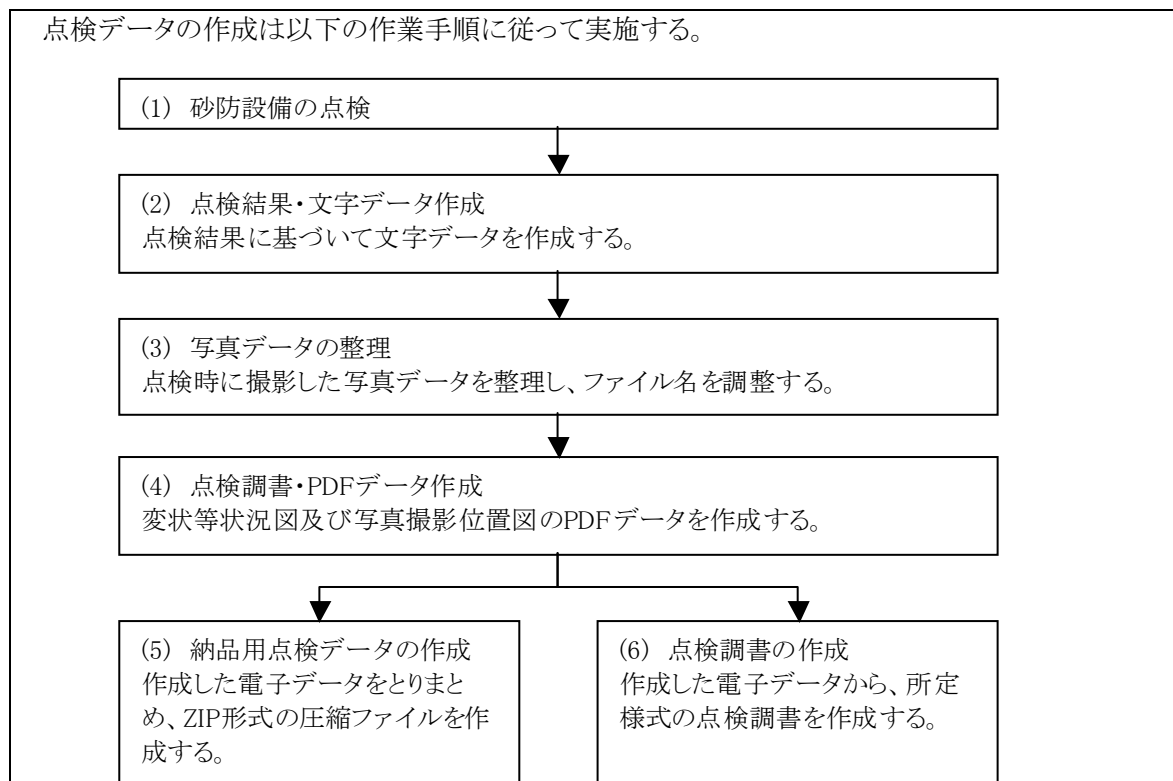
ウイルスに感染したデータが納品されることがないように、納品前に必ずウイルスチェックを行う。

最新のウイルスも確実に検出できるよう、ウイルス対策ソフトはなるべくシェアが高いソフトを利用し、ウイルス検出用のデータは最新のものを利用する。なお、ウイルス検出用のデータの更新方法はウイルス対策ソフトにより異なるが、通常はインターネットからデータをダウンロードするのが一般的である。

Ⅱ．点検データ作成

Ⅱ．点検データ作成

1．砂防設備点検データ作成フロー



(1) 砂防設備の点検

砂防設備の点検を、点検要領に従って実施する。(本要領の対象外である)

(2) 点検結果・文字データ作成

点検結果を配布される **Excel** ファイルに入力し、文字データを作成する。

(3) 点検結果・写真データの作成

点検時に撮影した写真データのうち、点検調書に貼付して提出するデータのファイル名を納品用のものに変更する。

(4) 点検調書・PDF データ作成

点検調書として納品する変状等状況図及び写真撮影位置図を **PDF** 形式で作成する。
(巡視点検の場合は不要)

(5) 納品用点検データの作成

(2)から(4)で作成したデータ一式をひとまとめにして **Zip** 形式で圧縮したファイルを作成する。

(6) 点検調書の作成

点検結果に基づき、点検要領で指定された様式の調書を作成する。(本要領の対象外である)

2. 点検結果・文字データ作成

砂防課より配布する文字データテンプレート(Excel2003 互換形式のファイル)に文字データを入力する。

(1) 文字データの作成

点検結果に基づき、砂防課より配布する文字データテンプレート(Excel2003 互換形式のファイル)に文字データを入力する。このテンプレートファイルはマクロを使用しているため、マクロが実行可能な環境で使用する。

(2) ファイル構成

点検結果の文字データテンプレートには以下の 9 つのシートが存在する。列、シートの追加や削除は行わないこと。また、「シートの保護」は解除せずに、入力可能なセルのみを編集すること。

表 II - 1 テンプレートファイル シート構成

	シート名	内容
1.	01_点検情報	点検設備の溪流情報、位置情報および点検者等を入力する。
2.	02_点検結果入力(3-1)	点検調書(砂防堰堤)様式 2-1(1/3)の点検結果を入力する。
3.	03_点検結果入力(3-2)	点検調書(砂防堰堤)様式 2-1(2/3)の点検結果を入力する。
4.	04_点検結果入力(3-3)	点検調書(砂防堰堤)様式 2-1(3/3)の点検結果を入力する。
5.	05_点検結果入力(アクセス情報)	点検設備へのアクセス状況を入力する。
6.	06_入力内容確認(3-1)	「02_点検結果入力(3-1)」での入力内容を確認する。
7.	07_入力内容確認(3-2)	「03_点検結果入力(3-2)」での入力内容を確認する。
8.	08_入力内容確認(3-3)	「04_点検結果入力(3-3)」での入力内容を確認する。
9.	09_入力内容確認(アクセス情報)	「05_点検結果入力(アクセス情報)」での入力内容確認を確認する。

(3) 文字データの検査

「06_入力内容確認(3-1)」等の入力内容確認シート等により、入力した点検結果に誤りがないことを確認する。

(4) ファイル命名規約

点検結果の文字データテンプレートのファイル名は「teiki.xls」とする。このファイル名は変更しないこと。

(5) 点検結果の入力

点検結果の入力は以下の手順で行う。

①	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>測定方法</th> <th>損傷等</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>劣化, はく離</td> <td> ☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 () </td> <td> ☐ 有 ☒ 無 </td> <td> ☐ A ☐ B ☐ C ☒ 新 ☐ 拡大 ☐ 旧 </td> </tr> <tr> <td>亀裂(クラック)</td> <td> ☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール </td> <td> ☐ 有 ☒ 無 </td> <td> ☐ A ☐ B ☐ C </td> </tr> </table>	項目	測定方法	損傷等	評価	劣化, はく離	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C ☒ 新 ☐ 拡大 ☐ 旧	亀裂(クラック)	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C	点検した項目での「測定方法」を選択する。 ↓ 「損傷等」、「評価」が選択可能になる。 該当部位がなく点検していない項目は「該当なし」とする。
	項目	測定方法	損傷等	評価										
	劣化, はく離	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C ☒ 新 ☐ 拡大 ☐ 旧										
亀裂(クラック)	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C											
②	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>測定方法</th> <th>損傷等</th> <th>評価</th> </tr> <tr> <td>劣化, はく離</td> <td> ☐ 該当なし ☒ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 () </td> <td> ☒ 有 ☐ 無 </td> <td> ☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧 </td> </tr> <tr> <td>亀裂(クラック)</td> <td> ☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール </td> <td> ☐ 有 ☒ 無 </td> <td> ☐ A ☐ B ☐ C </td> </tr> </table>	項目	測定方法	損傷等	評価	劣化, はく離	☐ 該当なし ☒ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧	亀裂(クラック)	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C	「損傷等」、「評価」をそれぞれ選択する。
項目	測定方法	損傷等	評価											
劣化, はく離	☐ 該当なし ☒ 目視 ☐ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧											
亀裂(クラック)	☒ 該当なし ☐ 目視 ☐ ボール	☐ 有 ☒ 無	☐ A ☐ B ☐ C											
③	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>損傷等</th> <th>評価</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>はく離</td> <td> ☒ 有 ☐ 無 </td> <td> ☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧 </td> <td> コンクリートの剥離 L≒2m程度 </td> </tr> </table>	項目	損傷等	評価	内容	はく離	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧	コンクリートの剥離 L≒2m程度	点検項目における状況、程度、変化度合いを「内容」に入力する。				
項目	損傷等	評価	内容											
はく離	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧	コンクリートの剥離 L≒2m程度											
④	<table border="1"> <tr> <th>評価</th> <th>内容</th> <th>写真番号</th> </tr> <tr> <td> ☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧 </td> <td> コンクリートの剥離 L≒2m程度 </td> <td> 18 19 20 </td> </tr> </table>	評価	内容	写真番号	☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧	コンクリートの剥離 L≒2m程度	18 19 20	点検項目で参照する写真の写真番号を入力する。 (5 つまで入力可能)						
評価	内容	写真番号												
☐ A ☒ B ☐ C ☐ 新 ☒ 拡大 ☐ 旧	コンクリートの剥離 L≒2m程度	18 19 20												

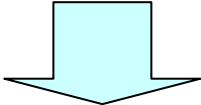
以上の作業を点検項目ごとに行っていく。

(6) 入力内容の確認

「06_入力内容確認(3-1)」、「07_入力内容確認(3-2)」、「08_入力内容確認(3-3)」、「09_入

力内容確認(アクセス情報)」は、対応する項目の入力内容が表示される。本機能により、各点検項目の入力内容の確認が可能である。

対象物	部位	項目	測定方法	損傷等	評価	内容	写真番号
本堤	堤体	劣化, はく離	☐ 該当なし ☐ 目視 ☒ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☒ 新 ☐ 拡大 ☐ 旧	・水抜き(左上)下のコンクリートが洗われて劣化 ・コンクリートの剥離L≒2m程度 ・水抜き(右下)のコンクリートが破損	18 19 20
		亀裂(クラック)	☐ 該当なし ☐ 目視 ☒ ボール ☐ 巻尺 ☐ その他 ()	☒ 有 ☐ 無	☐ A ☒ B ☐ C ☒ 新 ☐ 拡大 ☐ 旧	L≒2m, 1m	18



様式-2-1		点検調書(砂防えん堤)				(1/3)	
		水系名: 江の川		幹川名: 生田川		平成21年11月19日	
溪流名	生田川支川		所管名	広島県		設備備考	
えん堤形式	不透過型		西部建設事務所				
場所	広島県安芸高田市美土里町内山		流域面積	km2		土石流危険渓流	(内)外
諸元	堤高(m)	堤長(m)	着工～竣工年度	年度～		年度	
主えん堤	7	36	堤体材料	コンクリート・鋼製・粗石・石積・その他()			
副えん堤	3.5	20	点検者	加納,折出,久保			
(垂直壁)							
点検項目							
対象物	項目	損傷等	評価	内容(状況, 程度, 変化度合い)		測定方法	写真番号
本堤	劣化, はく離	(有)無	A (B) C	・水抜き(左上)下のコンクリートが洗われて劣化 ・コンクリートの剥離L≒2m程度 ・水抜き(右下)のコンクリートが破損		目視 (ボール)	18,19,20
	堤体	(新)拡大	旧			巻尺 その他()	
	亀裂(クラック)	(有)無	A (B) C	L≒2m, 1m		目視 (ボール)	18
		(新)拡大	旧			巻尺 その他()	

図 II - 1 入力内容の確認

(6) 入力規則

a) 点検情報

表Ⅱ-2 点検情報の入力規則

項目	記入形式	留意事項	記入例
所管	全角日本語		西部建設事務所
水系名	全角日本語		太田川
幹川名	全角日本語		鈴張川
溪流名	全角日本語		中倉川
流域面積	半角数字	km ² 単位。小数点以下2桁まで入力	0.42
土石流危険溪流	全角日本語	点検施設が土石流危険溪流内であれば「内」、なければ「外」とする。	内
えん堤形式	全角日本語	点検するえん堤の形式をリストから選択	不透過型
場所	全角日本語		広島県安芸高田市 美土里町内山
着工年度	半角数字	西暦で入力	2002
竣工年度	半角数字	西暦で入力	2004
設備備考	全角日本語		
主えん堤・堤高 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
主えん堤・堤長 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
副えん堤・堤高 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
副えん堤・堤長 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
垂直壁・堤高 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
垂直壁・堤長 (m)	半角数字	m単位。小数点以下1桁まで入力	
堤体材料		該当項目をチェック(複数選択可)	
点検年 (西暦)	半角数字		2008
点検月	半角数字		3
点検日	半角数字		25
点検者1～点検者5	全角日本語	点検実施時の点検者氏名を入力 5名まで入力可	

Microsoft Excel - teiki.xls

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) ツール(T) データ(D) ウィンドウ(W) ヘルプ(H) Adobe PDF(B)

MS Pゴシック 11 B I U

	A	B	C
		項目	設定値
1			
2	溪流情報	所管	西部建設事務所
3		水系名	江の川
4		幹川名	生田川
5		溪流名	生田川支川
6		流域面積	
7		土石流危険溪流	内
8		堰堤情報	えん堤形式
9	場所		広島県安芸高田市美土里町内山
10	着工年度		
11	竣工年度		
12	設備備考		
13	主えん堤・堤高(m)		7
14	主えん堤・堤長(m)		36
15	副えん堤・堤高(m)		3.5
16	副えん堤・堤長(m)		20
17	垂直壁・堤高(m)		
18	垂直壁・堤長(m)		
19	堤体材料		☒ コンクリート ☐ 鋼製 ☐ 粗石 ☐ 石積 ☐ その他
20			
21			
22			
23			
24			
24		(その他詳細)	
25	点検情報	点検年(西暦)	2009
26		点検月	11
27		点検日	19
28		点検者1	加納
29		点検者2	折出
30		点検者3	久保
31		点検者4	
32		点検者5	

01 点検情報 / 02 点検結果入力(3-1) / 03 点検結果入力(3-2) / 04 点検結果入力(3-3) / 05

図形の調整(R) オートシェイプ(U) コマンド

図Ⅱ-2 文字データテンプレート入力画面(点検情報)

3. 点検結果・写真データの作成

点検時に撮影した写真の電子データを作成する。

(1) 写真の撮影方法

写真の撮影方法は、施設点検マニュアル(案)「1.1 写真の撮影方法」に従うこと。

(2) データ形式

写真データのファイル形式は JPEG 形式 とする。

(3) データの精度

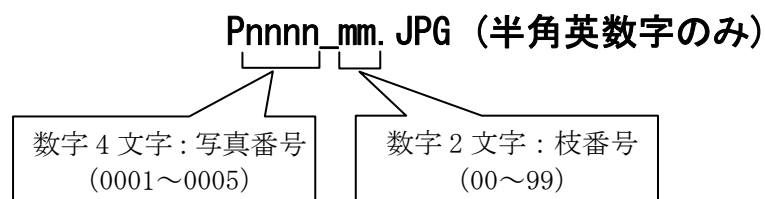
画素数等の条件は特に設けないが、破損箇所の状況やスケールが判読可能な精度で作成すること。

(4) 画像のスキャンング

銀塩カメラ等で撮影した写真や画像をスキャナ等で取り込む場合は、1 枚の写真を 1 ファイルとすること。電子化の精度は「(3) データ精度」に従うこと。

(5) ファイル命名規約

写真データのファイル命名規約は以下のとおりとする。



例 1) 写真番号 21 の写真

P0021_00.JPG

例 2) 写真番号 18、枝番 2 の写真

P0018_02.JPG

4. 点検調書・PDF データ作成

点検調書内の変状等状況図及び写真撮影位置図をイメージスキャナー等で電子化し、PDF データを作成する。

(1) PDF データの作成対象

- ・様式-2-2 変状等状況図
 - 様式 2-2-1 不透過型:変状等状況図
 - 様式 2-2-2 透過型:変状等状況図
 - 様式 2-2-3 鋼製透過型:変状等状況図
 - 様式 2-2-4 部分透過型:変状等状況図
- ・様式-2-3-1 写真撮影位置図

(2) PDF データの作成方法

作成した変状等状況図および写真撮影位置図をスキャナで読み込み PDF に変換するか、ワープロ原稿を直接 PDF に変換して作成する。

(3) PDF 作成条件

スキャナの読み込み条件は特に設けないが、記載内容が判読可能な精度(下図参照)を目安に PDF ファイルを作成すること。

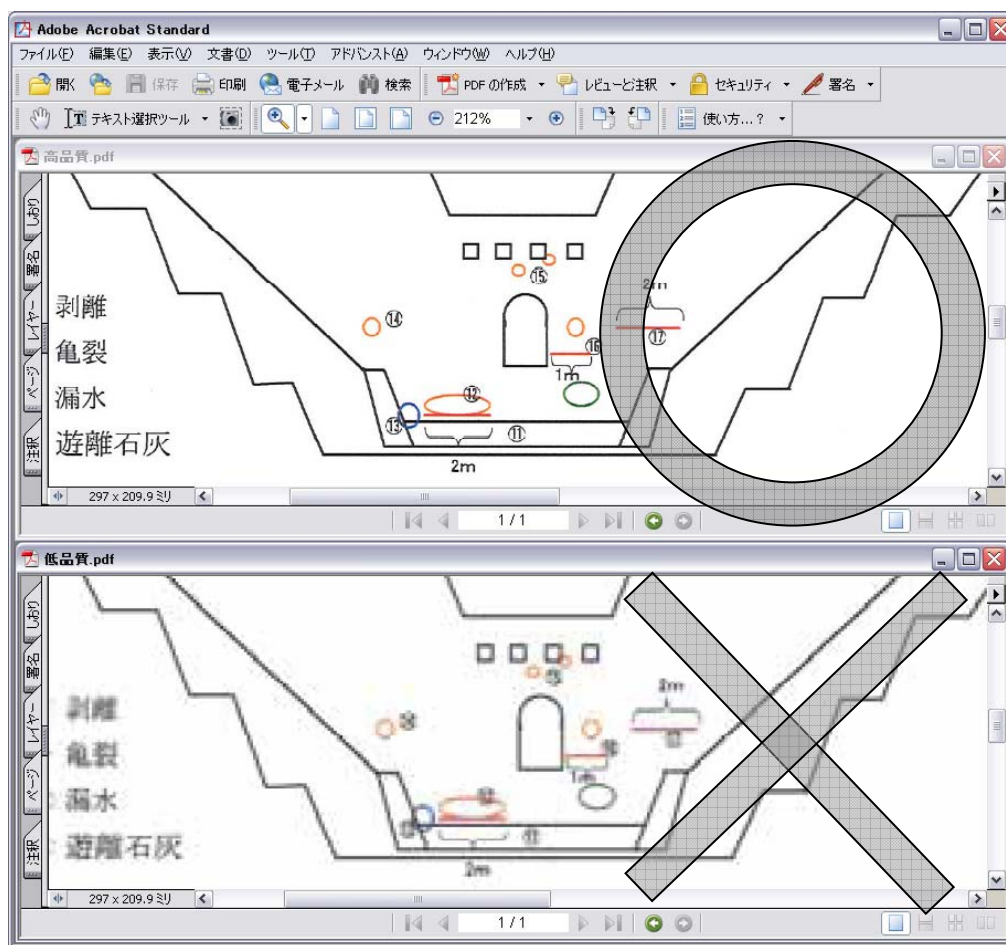


図 II - 3 PDF ファイルの精度

(4) ファイル命名規約

PDF データのファイル命名規約は以下のとおりとする。

変状等状況図：teiki22.PDF（半角英数字のみ）

写真撮影位置図：teiki23.PDF（半角英数字のみ）

(5) PDF ファイルの検査

作成した PDF データを検査して、誤りがないことを確認する。特に、PDF ファイルの品質（用紙の向き、設備諸元の文字が判読可能か、など）のチェックは確実に行うこと。

5. 納品用点検データの作成

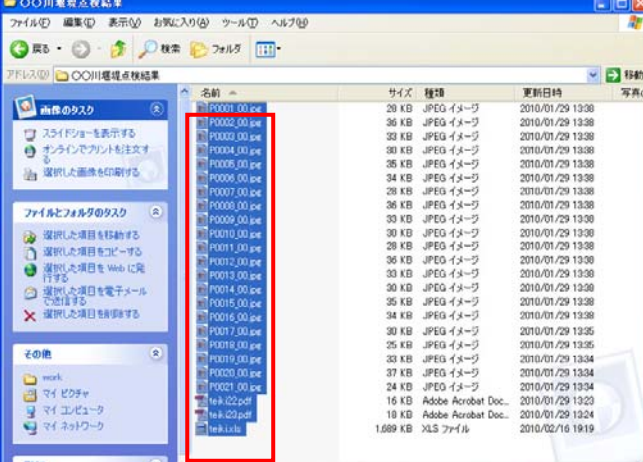
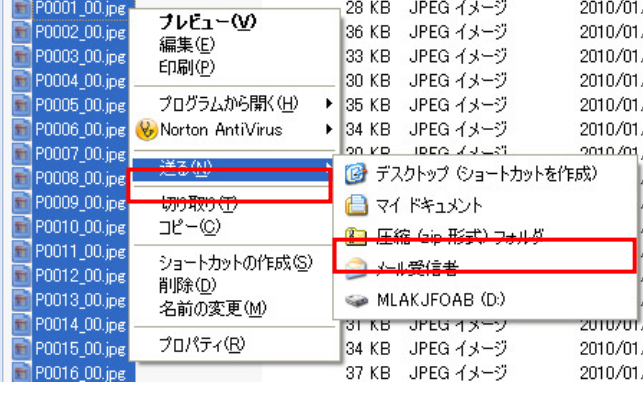
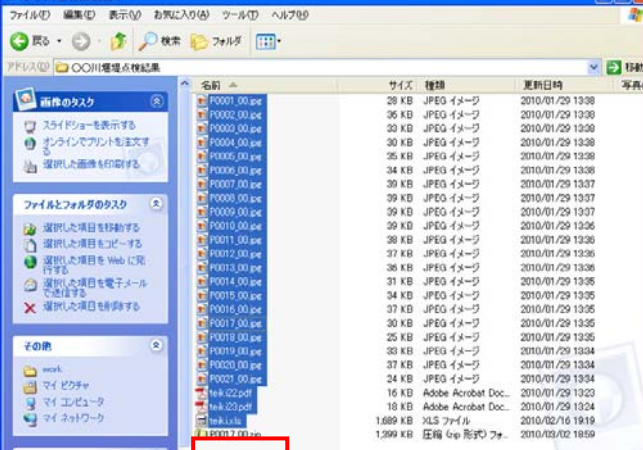
作成した点検結果電子データ(文字データ、写真データ、PDF データ)を取りまとめた納品用の圧縮ファイルを作成する。

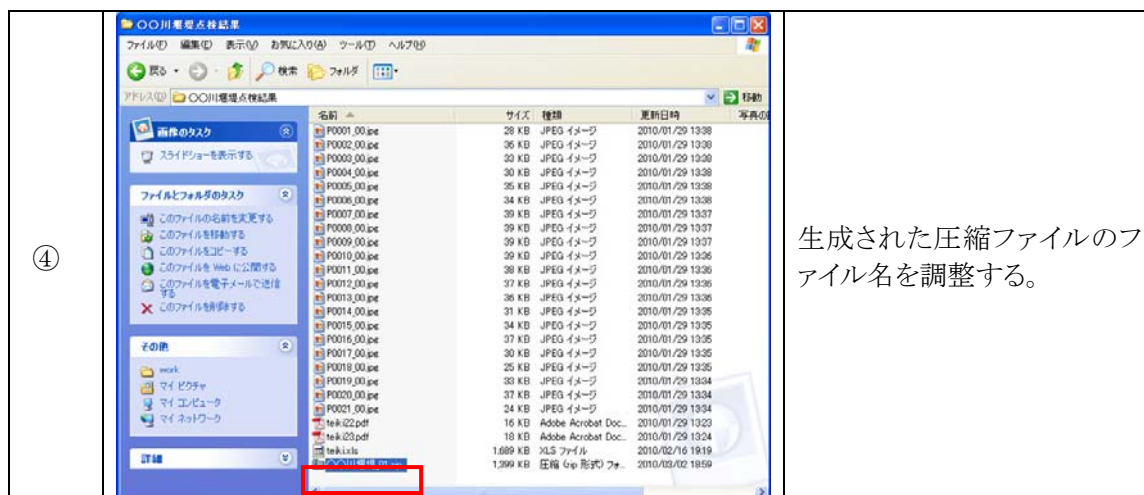
(1) 圧縮ファイルの形式

納品用圧縮ファイルのファイル形式は ZIP 形式 とする。

(2) 納品用圧縮ファイルの作成方法

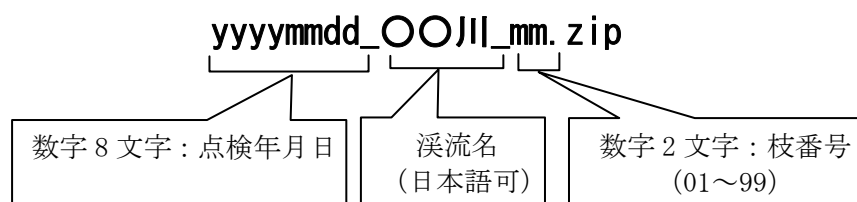
圧縮ソフトを使用してファイル一式を圧縮する。Windows XP 以降では、ZIP 形式の圧縮機能は標準機能として備えているため、これを利用してもよい。WindowsXP での作成手順を以下に示す。

①		エクスプローラを起動し、圧縮するファイルを選択する。
②		マウスの右ボタンをクリックし、「送る」-「圧縮 (ZIP 形式) フォルダ」を選択する。
③		フォルダ内に ZIP 形式の圧縮ファイルが生成される。



(3) ファイル命名規約

納品用圧縮ファイルのファイル命名規約は以下のとおりとする。同一溪流内に複数の点検施設がある場合は枝番により振り分けること。



例 1) 2009 年 11 月 19 日に点検した生田川支川の納品データ

20091119_生田川支川_01.zip

例 2) 2009 年 12 月 1 日に点検した生田川(2番目の堰堤)の納品データ

20091201_生田川_02.zip

Ⅲ. 添付資料

Ⅲ. 添付資料

1. 市区町村コード一覧

市区町村コードは「(1)市区町村コード一覧」より取得して利用する。

ただし今後、市町村合併等により市区町村コードが変更される可能性があるため、データ作成時点での最新の市区町村コードを用いること。最新のコードの入手方法は「(2)最新の市区町村コードの入手方法」を参照すること。

(1) 市区町村コード一覧

表 Ⅲ-1市区町村一覧表(平成 22 年 3 月現在)

市区町村コード	市区町村名	市区町村コード	市区町村名
34101	広島市中区	34210	庄原市
34102	広島市東区	34211	大竹市
34103	広島市南区	34212	東広島市
34104	広島市西区	34213	廿日市市
34105	広島市安佐南区	34214	安芸高田市
34106	広島市安佐北区	34215	江田島市
34107	広島市安芸区	34302	安芸郡府中町
34108	広島市佐伯区	34304	安芸郡海田町
34202	呉市	34307	安芸郡熊野町
34203	竹原市	34309	安芸郡坂町
34204	三原市	34368	山県郡安芸太田町
34205	尾道市	34369	山県郡北広島町
34207	福山市	34431	豊田郡大崎上島町
34208	府中市	34462	世羅郡世羅町
34209	三次市	34545	神石郡神石高原町

(2) 最新の市区町村コードの入手方法

市区町村コードは地方自治情報センターのホームページで公開されている地方公共団体コードを利用する。

以下にコード入手方法を解説する。(ただし、ホームページの構成等は平成15年3月時点のものである)

a) 地方公共団体コードのホームページを開く

ブラウザを利用し、地方自治情報センターのホームページを開き、地方公共団体コードの画面を表示する。

URL: <http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/index.html>



b) 広島県の画面を開く

広島県のリンクをクリックすると、広島県の市区町村コード等が表示される。

なお、本画面では市区町村コードは「6桁の「団体コード」として表現されているので、団体コードの末尾の1桁を削除して市区町村コードを作成する。

(広島市中区の場合、341011→34101)

The screenshot shows the LASDEC website in Internet Explorer. The page title is "広島県内市町 - 財団法人 地方自治情報センター(LASDEC)". The URL is "http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/155,14,184.html". The page content includes a navigation menu, a search bar, and a list of municipalities in Hiroshima Prefecture. The list is titled "広島県内市町" and "平成21年1月22日現在". The table below shows the data for the municipalities.

団体コード	団体名	ふりがな小書	新郵便番号	住所	電話番号
341002	広島市	ひろしまし	730-6586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-245-2111
341011	広島市中区	ひろしましなかく	730-6587	広島市中区国泰寺町1-4-21	082-504-2543
341029	広島市東区	ひろしましひがしく	732-6510	広島市東区東鯉屋町9-38	082-568-7703
341037	広島市南区	ひろしましみなみく	734-6522	広島市南区皆実町1-5-44	082-250-6893
341045	広島市西区	ひろしましにしき	733-6530	広島市西区福島町2-2-1	082-532-0825
341063	広島市安佐南区	ひろしましあさみなみく	731-0193	広島市安佐南区古市1-33-14	082-631-4925
341061	広島市安佐北区	ひろしましあさきたく	731-0292	広島市安佐北区可部4-13-13	082-619-3903
341070	広島市安芸区	ひろしましあきく	736-6501	広島市安芸区船越南3-4-36	082-621-4903
341088	広島市佐伯区	ひろしましさえきく	731-5195	広島市佐伯区海老園2-5-28	082-943-9703
342025	呉市	くれし	737-6501	呉市中央4-1-6	0823-25-3100
342033	竹原市	たけはらし	725-6666	竹原市中央5-1-35	0846-22-7719
342041	三原市	みはらし	723-6601	三原市港町3-5-1	0848-64-2111
342050	尾道市	おのみちし	722-6501	尾道市久保1-15-1	0848-25-7111

2. PDF 文書の作成について

(1) スキャナの読み込み条件

スキャナの読み込み条件は、白黒の原稿は白黒 300dpi、色が含まれる原稿はフルカラー 200dpi を推奨する。ただし、原図の条件等により文字等の判読が困難な場合は、適宜条件を変更してスキャニングを行うこと。

(2) PDF 作成条件

PDF の作成のための Acrobat Distiller の設定は以下設定を推奨する。

ただし、原図の条件等により以下の条件で作成した PDF ファイルの文字等の判読が困難な場合は、適宜条件を変更して PDF ファイルを作成すること。

① 一般

解像度	600dpi
サムネール	作成する
PDF の最適化	する
PDF の形式	Acrobat6.0(PDF1.5)

② 画像圧縮

	カラー	グレー	白黒
リサンプル	ダウンサンプル(バイキュービック)		
解像度	150ppi		300dpi
次の解像度を 超える場合	225ppi		450dpi
圧縮	JPEG		CCITT Group 4
画質	高		—

(3) 用紙の向き

作成した PDF データを検査して、誤りがないことを確認する。特に、PDF ファイルの品質(用紙の向き、砂防指定地や文字が判読可能か、など)のチェックは確実に行うこと。

